

# Kudo Project “Swing-by” Seminar [全74回]

2021年9月～

2021年11月～

2022年5月～

2022年7月～

2022年8月

再受験のための

## Input

白書・横断整理



## Tool Box編

[全9回/3時間]

社会保障論

2回

基本事項の横断

7回

- ☑ 今まで学習してきた知識(道具)をメンテナンス
- ☑ 3時間講義で本試験と同様の集中力を養う

## Input



## Swing-by編

[全45回/3時間]

健康保険法

5回

社会保険一般常識

3回

年金法(国民年金法・厚生年金保険法)

10回

労働一般常識(労働基準関係法令)

1回

労働基準法

6回

労働一般常識(資金及び労働時間関係法令)

1回

労働者災害補償保険法

5回

労働一般常識(社労士法)

3回

雇用保険法

5回

労働保険徴収法

3回

労働安全衛生法

3回

- ☑ 学習に時間を要する「年金法」をカリキュラムの前半で学習
- ☑ 国民年金法・厚生年金保険法を「年金法」として2回建て方式で学習
- ☑ 労働一般常識は、本試験で核となる法律と絡ませながら学習するストーリー性のあるカリキュラム

NEW!

コース生オプション講座で、さらに実力アップ!  
工藤講師 実力完成講座 OPUSシリーズ

※他講師のオプション講座の詳細はP14~25をご参照ください。

## SCHEDULE



## 直前編

[全1回/3時間]

工藤プロジェクト公開講義 1回  
最新! 本試験予想対策講義

- ☑ 本試験において、出題可能性の高い事項に特化した講義
- ☑ 公開講義オリジナルテキスト使用



## Output

改正法攻略講座

全2回  
3時間

実戦答練

全7回  
2.5時間

白書攻略講座

全2回  
3時間

全日本社労士公開模試

全3回



## Summary編

[全5回/3時間]

Summary編 5回  
～重要論点確認～

- 選択式8問(各科目1問×8科目)  
+  
一問一答式70問(各科目10問×7科目)

- ☑ 問題演習(85分)  
解説講義(85分)
- ☑ アウトプット形式による重要事項  
総まとめ
- ☑ 毎回、全科目満遍なく注力し、  
「何が問われるのか?」という  
「論点確認」を明確にしていく

社会保険労務士試験

## Tool Box編

まさに、工藤ゼミの真骨頂です。ツールボックス(道具箱)とは、これから各法律を学習していくうえで必要となる道具を整理しメンテナンスしようというものです。道具が悪ければ法律の理解(既知の知識のメンテナンス)はできません。ここにメスを入れ、知識の中で一番贅肉化しやすい部分をシェーブアップします。具体的な手法として、2022年向けでは、まず、平成20年版以降の厚生労働白書を医療、年金、その他に分類し、社会保障制度の成り立ちと沿革を知り、今後の展望を考えます。このことは、経過措置の多い年金科目を学習するうえでは必須事項だと思います。次に科目ごとの共通事項

を横断的に斬り、集約させていきます。単なる横断ではなく、制度趣旨的な部分を重視した集約です。また、年金制度等についても、制度設計をしっかりと学習していただき、土台を作ります。このことにより、例えば難解な改定率(再評価率)の改定や年金額の推移等を暗記することなく理解できるようになります。当ゼミ生なら、年金相談なども早見表を使わなくても電卓一丁あれば、その場で正確な回答ができることになるでしょう。「…だから、そうだったのか!」という“気付き”を与えます。

## Swing-by編

ツールボックス編で磨き直した知識を基に、各法律の各論部分に特化した集中学習を行います。本試験までに必要とされる法令を体系的にカリキュラム化し、関連する他の法令との繋がりを意識しながらしっかりとマスターしていただきます。具体的には、社会保険法の基礎となる健康保険法等の医療保険制度を皮切りに、試験科目中、一番学習時間を要する年金法をカリキュラム前半に配置しております。なお、年金法は、国民年金法、厚生年金保険法と分けて学習するのではなく、近年の実例問題に対応するため2つの法令を「年金法」として初めから2階建て方式による完成形として学習します。労働

法規については、とくその後回しになりがちな労働に関する一般常識分野を本試験で核となる科目と融合しながら講義展開をします。一例を挙げるならば、労働基準法規については、労働契約法や労働組合法などを理解したうえで労働基準法を学習し、労働市場法規については、雇用対策法及び職業安定法などを理解したうえで雇用保険法を学習するといった具合に、単なる1科目としてではなくジャンル別に深掘りし、総合的に仕上げていく講義展開となります。このことも近年の本試験での判例対策等を踏まえた対応です。なお、労働安全衛生法や労働保険徴収法のように、むしろ短期集中の方が効果的な

ものについては最終段階で学習します。その他、今後の動向を見ながら新たな試験方法に対応できるよう公開講座を設けています。まさに再受験者向けに練られた他に類を見ない工藤講師オリジナルカリキュラムです。なお、スイングバイ編では、もはや職人技の“Maintext Authentic”を使用します。“Maintext Authentic”は、条文を分かり易く分解、工藤講師オリジナルの“図”によりイメージで捉えさせ、理解・定着に繋げていきます。また、自宅復習教材、精選問題集“Archive”は、過去問ばかりに傾倒しがちな受験生に前を向いてもらう意味を込め、過去問を踏まえた未来問!即ち、今後の本試験にお

ける出題可能性、出題された場合の出題パターンを事前に予測した予想問題集です。スイングバイの如く、繰り返しの演習が重要です。精選問題集“Archive”を繰り返すことにより「本当の社会保険労務士試験の勉強の辛さ」を実感されるでしょう。しかしながら、この辛さを見事乗り越え「本当の社会保険労務士試験の勉強の楽しさ」を感じられた方は、社会保険労務士試験合格へ一歩大きく踏み出せることでしょう。

直前対策強化パック  
[全8回]別売

年金横断講座

全4回  
(2.5時間×4)

選択式予想講座

全2回  
(2.5時間×2)

判例マスター講座

全2回  
(2.5時間×2)

## Summary編

直前期に欠かせないのが重要事項の確認と問題演習です。これを一体化し、より実戦的に、より効率的に構成したのが、工藤ゼミ独自のサマリー編です。毎回、厳選した選択式8問+一問一答式70問を演習する、言わばミニチュア模試です。科目ごとに実施する演習形式では、予習復習がその科目に集中してしまい、他の科目がおろそかになりがちです。そこで、毎回全科目に万遍なく注力し、実力確認可能な問題により「何が問われるのか?」を明確にし、実戦力とモチベーションアップを図っていくのがこの講座のねらいです。このサマリー編は、もはや講師と受講生の対決です。

リニューアル